

<生成[歴史]過程>

原型「マンハッタン計画」原爆開発計画 1941~45年

1939.8 : アイゼンハワー大統領宛勸告 (1938年拙ウラニウム核分裂
200kg材料保有と50億ドル) 実験成功)

↓
「国有=独占委託運営方式」

国家 (国防省原子力委員会=AEC) 管理下民間化

→ JCS-産業

展開

1947年: トルマン・ドクトリン (冷戦宣言)

↳ (陸・海・空軍統合) = 国家安全保障協議 (NSC)

49/50年 ① 連核保有 (49年原爆 52年水素) 米核 (45年原爆 54年水素)
= 米核占崩壊

② 中国革命 (49年) 中ソ友好同盟新約・朝鮮戦争

50春 NSC 68 戦後アメリカ世界戦略政策最初基本綱領

「常時即応」 ↔ 通常戦争想定外・戦時動員式決定

① 航空機 → サイル・ドクトリン → 航空機・宇宙(サイル)・衛星

② 核兵器(水素) 原子力艦船 → 核兵器小型・軽量化

AEC下ウラン濃縮工場

{ 50年オクリッジ工場(マンハッタン工場)

ハインリッヒ工場増設

50年ホーソーン工場新設

→ 原子力産業 [濃縮工場・軽核炉]

① 炉型
WHC 原子炉補給

② 炉型
GE

53年 New Look 戦略 (アイゼンハワー + スミス)

水素搭載重爆機1機は「大量報復」攻撃=戦略。
<9>

1996年末 434基 (全米20%担)

50年以降原子力発電

定型 1957年 1月 B57爆撃機無着陸世界一周

9月 ソ連・ICBMミサイル発射 10日人工衛星スプートニク打上げ成功。

61年 4月 ソ連・人間衛星ウエストーク (カガリク夫佐塔乗)

アメリカ アイゼンハワー・ケネディー政権

58年 * NASA National Aeronautic and Space Administration 航空宇宙庁設立
↳ 人工衛星エズメロウ(58.1), ノーアス原形(58.6) 北極海潜水艇

→ 61年アポロ計画 --- 69年アポロ11号月面着陸

JFK (ケネディー政権) = New Economics

生残り軍事予算 (「均衡」財政放棄) → 軍拡高成長予算